

⑫公開特許公報(A)

平2-203048

⑬Int.Cl.⁵F 16 H 3/12
3/14

識別記号

府内整理番号

7331-3J
7331-3J

⑭公開 平成2年(1990)8月13日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑮発明の名称 車両用変速機の構造

⑯特 願 平1-23304

⑰出 願 平1(1989)1月31日

⑱発明者 白石 優 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
 ⑲発明者 石田 一之 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
 ⑳発明者 引田 学 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
 ㉑出願人 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号
 ㉒代理人 弁理士 前田 弘 外2名

明細書

1. 発明の名称

車両用変速機の構造

2. 特許請求の範囲

(1) リバースアイドルシャフト上に、プライマリリバースギヤに常時噛合いつつ該リバースアイドルシャフトに対し相対回転可能に支持されたアイドルギヤと、リバース用同期装置とが設けられており、上記同期装置は、セカンダリシャフト上に該シャフトと一体回転するように設けられたセカンダリリバースギヤと、常時噛合いつつ軸方向に移動可能に設けられたスリーブギヤと、該スリーブギヤが軸方向のアイドルギヤ側に移動する時このスリーブギヤと上記アイドルギヤとを同期させるシンクロナイザリングとを有し、リバース選択時に上記シンクロナイザリングによりアイドルギヤとスリーブギヤとを同期させるとともに該スリーブギヤを介してアイドルギヤの回転をセカンダリリバースギヤに伝達するように構成されていることを特徴とする。

る車両用変速機の構造。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、車両用変速機の構造に関し、特に、リバースギヤ系の改良に係わる。

(従来の技術)

一般に、車両用変速機のリバースギヤ系においては、例えば特開昭62-19621号公報に開示されるように、プライマリシャフト上に該シャフトと一体回転するように設けられたプライマリリバースギヤと、セカンダリシャフト上の上記プライマリリバースギヤに対応する位置に、該シャフトと一体回転するように設けられたセカンダリリバースギヤと、リバースアイドルシャフト上に該シャフトに対し相対回転可能にかつ軸方向に移動可能に設けられたアイドルギヤとを備え、リバース選択時には上記アイドルギヤを軸方向に移動させて上記プライマリリバースギヤとセカンダリリバースギヤとに噛合わせるように構成されている。

THIS PAGE BLANK (USPTO)